

# い し ず え

全損保日動外勤支部 東日本合同職場会ニュース 08 - 22

2008年 1月15日 (発行) 首都分会組対部

## 誰の何の為の商品改定？

2月の大幅な商品・特約改定に伴い、皆さん大変なご苦勞が生じていると思います。団地保険や住宅総合、住宅火災を個財総に一本化する理由は、「お客様にとってわかりにくい」「お客様に説明しにくい」といった「お客様の声」に応えるため、だそうです。しかし、本当にそうなのでしょうか。

かつて、特社が正社を目指し飛び込みセールスを行っていた時、一番売りがよく、売っていたのも団地保険です。団地保険は、団地やマンションの居住者にとっても、扱者にとっても分かりやすい保険商品で、シェアも高く、現在もそのニーズは相変わらず高いと思います。保険料や保険金も明確で分かりやすく、不払いやトラブルもさほど無かったと思います。住総や住火も同様です。ところが会社は、これらの商品を「わかりにくい」からと廃止し、決してわかりやすいとも思えない個財総に替えると言います。例えば、団地保険と同内容の保険を売ろうとすると、超保険か、個財総と傷害保険を組み合わせるしかありません。それぞれ「意向確認」も必要ですし保険料も高くなります。これで「お客様の声」に応える商品改定と言えるのでしょうか。

東京海上日動火災は、「お客様の声」と称して、月掛や団地保険と言った、かつての日動火災の特徴とも言える商品やシステムを次々と無くそうとしている気がします。しかし、外勤社員の私たちは「お客様の本当の声」を聞くことが出来ます。本来ならば、会社との経営協議会等で経営にそれをぶつけ、会社を正す役割が労働組合にあるのですが、不当差別を受けている現状ではそれも出来ません。一刻も早く、正常な労使関係を築き、東京海上日動経営の横暴にブレーキを掛け、お客様から本当に信頼を頂ける、従業員が安心して働ける、東京海上日動火災にしたいものです。

< 訂 正 >

08 - 21号、1月のスケジュール「1月23日(水)丸の内街宣行動」は、「1月30日(水)丸の内街宣行動」の誤りでした。誠にすみません訂正願います。